

Panasonic[®]

取扱説明書

ドライブレコーダー

 Strada

品番 CA-DR03D

ご使用前に、「安全上のご注意」(P.3～6)を必ずお読みください。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- この説明書は大切に保管してください。

適合機種 (2019年11月現在)

- CN-F1D9D
- CN-F1X10BD
- CN-F1X10D
- CN-RA06D/WD
- CN-RE06D/WD
- CN-RX06D/WD

詳しくは、お買い上げの販売店にご確認ください。



保証書付き

YEFM0412754 F0819-0

安全上のご注意

はじめに

使いかた

取付と配線

必要なとき

もくじ

内容物の確認	2
安全上のご注意	
安全上のご注意	3
はじめに	
使用上のお願い	7
各部のなまえとはたらき	9
SDメモリーカードについて	10
使いかた	
ドライブレコーダーの設定をする	12
常時録画(動画)	14
駐車録画(動画)	14
手動で動画を録画・静止画を撮影する	15
保存したファイルを再生する	16
ファイルの移動・削除	17
取付と配線	
取り付け・配線の前に	18
作業の順序	18
取り付け位置について	19
上下角度と前後位置を調整する	20
仮止めする	21
ドライブレコーダー本体を貼り付ける	22
配線のしかた	24
取り付け後の確認と調整	25
必要なとき	
故障かな!?	27
商標などについて	28
仕様	29
保証とアフターサービス	30

内容物の確認

万一、不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

番号	品名	数量
①	 ドライブレコーダー本体(電源コード付)	1
②	 束線バンド(200mm)	10
③	 コードホルダー(150mm)	1
④	 ウレタンテープ(100mm x 200mm)	2
⑤	 クリーナー	1
⑥	 microSDHCメモリーカード 8GB (本体に挿入済み)	1
⑦	 microSD-SDアダプター*1	1
⑧	 ドライブレコーダーステッカー	1

*1 パソコンなどで使用することができます。ナビゲーションには挿入しないでください。

主な添付品

取扱説明書	1
-------	---



- 本書に記載の寸法は、おおよその数値です。
- イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。
- 本製品の仕様、外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 包装材料などは、商品を取り出したあと、地域・自治体の定めに従って、適切に廃棄やリサイクルの処理をしてください。

安全上のご注意



必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

取り付けや配線をするとき

警告



本機はDC12Vアース車専用です
DC24V車には使用できません。火災や故障の原因となります。

説明書に従って、取り付けや配線をする
作業は手順どおりに正しく行ってください。火災や故障の原因となります。

作業前に、車体のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認する
車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないようにし、加工部にサビ止め・浸水防止処置をしてください。火災や感電の原因となります。

作業前に、必ずバッテリーの⊖端子を外す
外さずに作業をすると、ショートによる感電やけがの原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回す
ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダルなどに巻きつくと、交通事故の原因となります。

作業後は、車の電装品*の動作確認をする
正常に動作しないと、火災や感電、交通事故の原因となります。
*ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウinkerなど

ドライブレコーダー本体は、保安基準に従って取り付ける
視界不良による事故の原因となります。

取り付け(取り外し)や配線は、専門技術者に依頼する
誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがありますので、お買い上げの販売店にご依頼ください。

取り付けや配線をするとき



警告



アースコードを車両側のアース部分に確実にねじ止めする
アースコードが確実にねじ止めされていないと、火災や感電、故障の原因となります。

本体を車体から取り外す場合は、貼付面の四隅を持つ
本体部や可動部を持ってはがそうとすると、本機が破損するおそれがあります。



視界や運転を妨げる場所*、同乗者に危険をおよぼす場所には、取り付けない

交通事故やけがの原因となります。

*ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル付近・ハザードスイッチなど

車両メーカーが指定する禁止エリアに、取り付けや配線をしない
カメラ装置などの動作を妨げるおそれがあり、交通事故の原因となります。
車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしない
エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグで本機や部品が飛ばされ、死亡事故の原因となります。車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

取り付けやアース配線に、車の保安部品*を使わない

制御不能や発火、交通事故の原因となります。

*ステアリング、ブレーキ系統、タンクなどのボルトやナット

小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない
誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

コードを破損しない
断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。

- 傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものを載せる、熱器具へ近づける、車の金属部や高温部に接触させるなどしないでください。
- 車体やねじ、可動部(シートレールなど)へ挟み込まないように配線してください。
- ドライバーなどの先で押し込まないでください。



分解や改造をしない
交通事故や火災、感電、故障の原因となります。

- 分解禁止
- コードの被覆を切って他の機器の電源をとるのは、絶対におやめください。
 - アースコードの改造や、他の機器とのアース接続は絶対におやめください。

取り付けや配線をするとき



注意



必ず、付属品や指定の部品を使用する
機器の損傷や確実に固定できず、事故や故障、火災の原因となります。

しっかり確実に取り付ける
走行中の脱落や破損などで、交通事故やけがの原因となります。
取り付ける場所の水気や汚れ(ほこりや油など)は、取り除いてください。
取り付けの状態(接着やねじのゆるみなど)を、ときどき点検してください。

板金やエッジ、樹脂バリおよび可動部に干渉しないように配線する
断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。



振動のある不安定な場所には、取り付けない

走行中に外れ、交通事故やけがの原因となります。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付け
ない
水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となります。

安全上のご注意 必ずお守りください

ご使用になるとき

警告



ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門技術者に依頼する
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。
ヒューズ交換や修理は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」に依頼してください。

**ドライブレコーダー本体の温度を確認してから、
角度調整やmicroSDメモリーカードの抜き差しをする**
高温環境での放置（直射日光などが長時間あたっていた場合）や連続使用した場合などは、高温になりやけどをするおそれがあります。



運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視しない
必ず安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけた状態でご使用ください。
交通事故の原因となります。

故障や異常な状態のまま使用しない
画像が映らない、音が出ない、異常（異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がするなど）が起きた場合は、ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」にご相談ください。事故や火災、感電の原因となります。お客様による修理は、絶対におやめください。

カード類は、乳幼児の手の届くところに置かない
誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

機器内部に、水や異物を入れない
特に、傘による雨水や、飲み物などがかからないようご注意ください。
水や、湿気・ほこり・油煙、金属物や燃えやすいものなどが機器内部に入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電、故障の原因となります。

注意



本機を車載用以外には、使用しない
発煙や発火、感電、けがの原因となります。

落下させる、たたくなど、強い衝撃を与えない
故障や火災の原因となります。